



淡路島のアーティスト と地域との関係

食料自給率110%という豊かな生活環境を誇りながらも、一方で人口減・少子高齢化・地場産業の衰退という憂き目にあっている、日本の地方の典型でもある淡路島。そんな淡路島で活躍するアーティストが密かに注目されているのはご存知でしょうか？

洋画家・造形家・現代アート作家・写真家・映像作家・陶芸家...。かれらはアトリエや美術館、ギャラリー、カフェといった施設を併設し、作家活動を行なう一方、積極的に地域内外の人びとと交流し、いろいろなことに取り組んでいます。

しかし、なぜアーティストは人びとと交流するのでしょうか？交流を通じて地域はどう変わったのでしょうか？今回の大蔵谷なう。は、淡路島をフィールドに地域在住のアーティストと地域活性化の関係について研究する桑島先生にお話していただきます。

2月5日(水) 18:00~19:00

※ 開場は17:30から 終了時間は変更する場合もございます。

どなたでもご自由にご参加ください (参加費・申し込み不要)。
神戸学院大学地域研究センター ☎078-974-4232 yoshida@human.kobegakuin.ac.jp

第11回 **大蔵谷** なう。勉強会

■ 話題提供

桑島紳二

神戸学院大学人文学部・教授

■ 会場
明石ハウス (大塩邸)

明石市大蔵八幡町 5-23

■ 主催
神戸学院大学地域研究センター



アクセス

- バス：JR 明石駅より 神姫バス 55,56,66,83,84,89「黒橋」下車、徒歩9分。
- 電車：山陽電車「大蔵谷駅」下車、徒歩5分。JR「明石駅」下車、徒歩15分(南口より国道2号線を東へ)。
- 車：国道2号線の黒橋東交差点を南に曲がり 80m ほど進んだ右側にコインパーキングがあります (有料・1時間100円)。



申込・参加費
不要